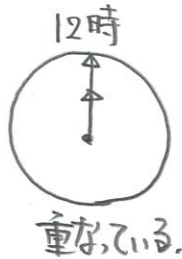


1 から学ぶ中学受験算数 ～第34回 時計計算①～

氏名： 解答・解説

例題 次の時刻のときの、長針と短針が作るつくる角のうち小さい方の角度を求めなさい。

① 12時18分



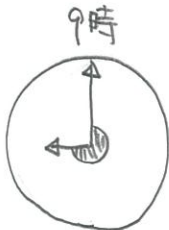
長針と短針は $\frac{1}{2}$ 度/分ずつはなれる。
18分後は $\frac{1}{2}$ 度/分 \times 18分 = 9度 はなれる。

よって 99度 ← (注意) 180度より小さい角度かチェック!!

★時計計算のポイント!

- ① ちょうど時刻(0時)に何度をはなれているかを確認。
- ② 長針と短針は $\frac{1}{2}$ 度/分ずつ近づいたり、はなれたりする!!

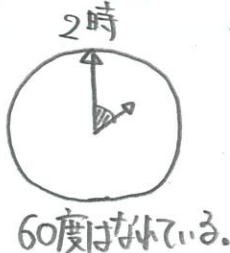
② 9時36分



長針と短針は $\frac{1}{2}$ 度/分ずつ近づく。
36分後は $\frac{1}{2}$ 度/分 \times 36分 = 18度 近づく。

だから9時36分は $270 - 18 = 252$ 度 ← (注意) 180度より小さい角度かチェック!!

③ 2時52分



長針と短針は $\frac{1}{2}$ 度/分ずつ近づく。
52分後は $\frac{1}{2}$ 度 \times 52分 = 26度 近づいてはなれる。
だから2時52分は $60 - 26 = 34$ 度になる。

よって 34度 ← (注意) 180度より小さい角度かチェック!!